

令和 8 年度 教育委員会事務局運営方針

部局名 : 教育委員会事務局

部局長名 : 鍋谷 芳比古

基本方針（政策目標）

教育委員会事務局は、学校・社会教育施設などの教育機関を管理・更新し、学校の組織編制や教育課程、教科書採択などの事務を行うとともに、社会教育や学術・文化、青少年育成やスポーツ推進に関する事務の管理・執行を行うなど、教育行政を担います。

施策の推進にあたっては、「泉大津市教育振興基本計画」「泉大津市生涯学習推進計画」「学校園に対する教育方針」に基づき、すべてのこどもたちの可能性を引き出し、個別最適な学びと、協働的な学びをさらに推進するとともに、自分自身が受けた教育を自分のこどもにも受けさせたいと思える教育施策の推進を図ります。

- ① 上條小学校校舎棟改築工事及び楠小学校校舎棟長寿命化改良工事など学校教育施設の更新を進めます。老朽化が進む浜小学校については長寿命化改良工事の設計に着手し、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を推進するため、学校と地域の連携・協働の拠点となる地域交流ゾーンの整備を盛り込みます。
- ② 物価高騰が続く中、学校給食においては、発酵食品や有機食材等、こどもたちにとってより良い食材や、通常の給食では味わえないような食材を使用する特別な「ときめき給食」といった質の高い給食を継続するため、保護者に負担を転嫁せず市の予算を投じて継続します。さらに、国の交付金を活用し、小学校給食の無償化を実施します。また、全国から視察に訪れる本市の魅力ある給食を地域の方々にも体験いただく手法について検討します。
- ③ 「泉大津市学力向上プラン（令和 6 年度から 3 カ年計画）」が 3 年目を迎え

るにあたり、中学生に加え、新たに小学生でもリーディングスキルテスト受検を実施し、教師の分析力の向上やリーディングスキルの視点の獲得・充実をさらに推進させます。その上で、自己調整学習のサイクル（見通し・遂行・振り返り）を大切にした指導や学習環境の工夫により、自律した学習者の育成につながるよう努めます。

- ④ 不登校支援の1つとして、学校には登校できるが教室に入ることが難しい児童生徒の居場所として全小中学校に開設している校内教育支援ルームについて、指導員の複数配置校を拡充し、誰一人取り残されない学びの保障に向けた取組を推進します。
- ⑤ 英語教育の推進のため、現在全小中学校に配置している常駐の外国語指導助手（ALT）の複数配置校を拡充し、児童生徒の国際感覚及び英語への関心を高め、コミュニケーション力のさらなる向上をめざします。
- ⑥ 生涯学習推進計画及び文化芸術振興計画の両計画を策定し、身近に活動・交流できる場として地域交流ゾーンの活用や発表・魅力発信の場としてまちなかアートフェス、スポーツフェスティバルなどを充実させることで、人と人がつながり、誰もが身近で気軽に学ぶことができる、市全域をフィールドとした「学びのキャンパス」の実現をめざします。
- ⑦ 留守家庭児童会（仲よし学級）について、令和8年度から全8小学校での民間委託を実施したことにより、今年度夏より土曜日の一時預かりを全校で実施するなど、企業の独自コンテンツを活用した市民サービスの向上及び専門業者のノウハウを活用し人材を確保することで、安定した仲よし学級の運営をめざします。
- ⑧ 指定管理者制度を導入した池上曾根弥生学習館について、地域住民がこれまで以上に地域の誇りや愛着を育めるよう、弥生文化博物館と連携した企画やイベントを強化することに加え、新たに整備された体験の広場、体験水田を活用していきます。

- ⑨ 大阪体育大学と連携し、プロスポーツチームに所属する選手やコーチを招き、トップレベルの技術や競技の魅力に直接触れられる体験型の指導を行うなど多様なスポーツプログラムを実施するとともに、運動が苦手なこどもに対して効果的な運動機会の提供に努めます。
- また、学校や地域、関係団体との連携や総合体育館の指定管理者が持つ民間ノウハウを活用し、誰もが気軽に参加できるスポーツ機会の充実を図ることで、こどもたちが生涯にわたってスポーツに親しむきっかけづくりに取り組めます。
- ⑩ 学校図書室開放や校庭開放事業に加え、全ての小学校で行っている放課後子ども教室について、地域住民と連携し回数を増やしていくなど、こどもが安全で安心して過ごせる居場所を拡充していきます。